

【授業実践の振り返り】 国語（光村）2 年 「こんなもの見つけたよ」

時 限	内 容	活 動	有効であった点	改善が必要と思われる点	子どもたちの反応
1	①課題をつかむ。 ②「はじめ」「中」「おわり」の組み立てを知る。 ③「はじめ」と「おわり」を書く。	【めあて】日本の親せきや友だちにつたえたいものを見つけよう 【ブレインストーミング】 グループになって、「みつけたよダイス」をしながら、見たこと・聞いたこと・したことなどを話し合う。 「はじめ」「中」「おわり」それぞれにどんなことを書くのかを知る。 【文章構成の学習】 2 枚の短冊にそれぞれ「はじめ」と「おわり」を書く。	・「見つけたよ！カード」（一人 6 枚）を宿題で書いてきたことで、実際に文を書く段階になって、自分の興味の題材をすぐに選ぶことができていた。そこには、「自分で書きたいものを書く」という気持ちが生まれていたようだった。通常は「（文章を）書かされている」という受け身の姿勢が多いので、この单元では「進んで自分で書く」姿勢が多くの子供達の中に見られて良かった。 ・サイコロを使ってグループ活動をしたことで、子供達にとって「遊びの要素」が加わった。グループ内で、楽しそうに生き生きとブレインストーミングに取り組んでいた。 ・「はじめ」（黄色の短冊）と「おわり」（青の短冊）に分けたのは、子供にとって視覚的に分かりやすく、課題に取り組みやすそうだった。	・「見つけたよ！カード」が横書きだったので、ワークシートに合わせて縦書きにした方が良い。 ・ワークシート①「はじめ」を書かせる時に、「いつ」「どこで」「なにを」の（ ）のみだったので、そこに「どんな」を加えると、文が作りやすい。 ・「はじめ」と「おわり」の内容が一致していない子供がいたので、文型を指導する時に工夫が必要だった。	・「はじめ」「中」「おわり」の説明議のためにハンバーガーをプロジェクターで見せた時に、子供達が興味津々だった。

時 限	内 容	活 動	有効であった点	改善が必要と思われる点	子どもたちの反応
2	①課題をつかむ。 ②発表の練習をする	【めあて】「中」の文を書いて文章を完成させよう ・ワークシートの「中」の部分を完成させ、短冊に書きワークシートに貼る。 ・完成した文章をグループで読み合う。	・前時の復習で、「はじめ」と「おわり」の短冊を指定した手にそれぞれ持たせたことで、文章の構成が明確に思い出せていた。そして、	・「中」のワークシートでセンテンスステムになっている部分が細かく指定をし過ぎていたので、「はじめ」に書かれて	・「中」の文例に出てくる「鳥の形をした花」や「図鑑」を見て、「これから何が始まるかな？どんな質問がくるか

	る。		本時では、その間にはさまる「中」を書くことがはっきりと理解できていた。 ・例文に出てくる「鳥の形をした花」をパワーポイント資料だけでなく、教師が自分で描いたイラストを子ども達に見せながら、クイズ形式で「中」の文例を示した。子ども達がクイズに答えることで、自然と「中」の文例が出来上がっていき、先生が一方向的に教え込む形式でなく良かった。 ・「はじめ」「中」「おわり」の短冊を色で分け、最後に A3 のワークシートに貼ったことで、子どもたちにとって文章構成が視覚的にもはっきりと分かった。また「（文章が）できた！」という達成感があったのではないと思われる。	いる内容によっては、「中」に書かれている内容が、本来書かれるべきである内容にきちんと当てはまっていなかったり、文脈的におかしくなってしまう事例が多々あった。もっと、「中」の部分は様々な例を挙げるか、若しくは自由に書かせるスタイルでもよいかもしれない。 ・「中」の文章の始まりは、「なぜなら～」だけに限定せずに、もう少し自由に書かせてもよい。「なぜなら」という言葉に引っかかり次に進めない子が何人かいた。 ・「中」の部分で、後半の「また～」以降の文を自主的に書ける子どもたちが少なかったので、「また～」以降は省いて、前半の「なぜならば～」のみで書かせるだけで十分だと思われる。 ・文章例が小学 2 年生にとっては分量が多かったと思われる。もっと短くてコンパクト「はじめ」「中」「終わり」にまとまっている文章を書かせる方がよいかもしれない。	な？」と好奇心たっぷりだった。 ・「中」＝「理由」（なぜならば～）を書く課題は、日本語力に課題がある子ども達にとっては難しそうだった。仕上げるために、教師の手伝いが必要であった。
--	-----------	--	---	---	--

時 限	内 容	活 動	有効であった点	改善が必要と思われる点	子どもたちの反応
3	①発表の目標を確認する。 ②発表する。 ③感想を伝え合う。 ④まとめをする。	【めあて】発表会をしよう ・ポスターセッション式に、前半、後半に分けて発表させる。 ・自己評価シート記入	・授業活動案では、ポスターセッション形式で発表会を予定していたが、子ども達の間から「前に出て一人ずつ発表をしたい！」と希望があり変更をした。その結果、自分達が希望しただけあって、少し緊張しながらもがんばっていた。 ・一人一人の発表のあとに、先生が「(例) 90点！」とすぐに点数を言ってあげたので、子ども達は達成感が得られて嬉しそうだ。	・「(友達の発表を) 正しい姿勢で聞きましょう。」では子ども達にとって「何が正しい姿勢なのか？」が分かる明確な指示でないため、「発表をしている人におへそを向けましょう。」など具体的な指示を与えると良い。	・子ども達が「一人ずつ前で発表したい！」との声があったので、急きょ発表形式を変えた。前に出てきちんと発表出来た子どもと、どうしても人前での発表が苦手で泣いてしまった子どももいた。今後はポスターセッション式に発表も取り入れていきたい。